



移情閣だより

発行 移情閣(孫文記念館)友の会
編集 「移情閣だより」編集委員
発行日 2020年1月

No.120



移情閣友の会 35周年記念号



2020年 新春のご挨拶

移情閣友の会会長 林 同福

新年明けましておめでとうございます。

「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」との格言があります。元旦は過去のあらゆるやり損いを帳消しにして、もう一度新しく出発する機会や希望を与えてくれる記念すべき日ではないかと思えます。

さて、2019年は“新春のつどい”をスタートとして、様々な事業を通じて、国際交流や地域との交流、会員の相互理解と親睦を深めてきました。特に12月15日にはシーサイドホテル舞子ビラにおいて、移情閣友の会35周年記念祝賀会を開催しました。ご来賓の皆様をお迎えし、私達友の会と共に喜びを分かち合うことができました。

祝賀会では、はじめに張文乃先生作詞、作曲の「みんなが集う移情閣～35周年記念ソング」が披露されました。出席者の心を揺さぶり、奮い立たせてくれる歌曲で、これからも会歌「かけはし舞子の移情閣」と共に歌い繋げたいと思います。続きまして、二胡同好会が台湾メドレーなどを演奏。引き続きゲストの台南応用科技大学教授らが、ギター演奏、バス独唱で祝ってくださいました。音楽は人の心を癒

し、又たとえ国の言語の違いがあっても、人と人とを結びつけてくれる最高のツールだと思いました。乾杯には孫文記念館名誉館長、安井先生より祝辞を頂くと共に、2024年は如何なる年かとの問いかけがありました。実は2024年は中国革命の父、孫文が「大アジア主義」を提唱して100周年であるとの説明を頂きました。2024年は私達友の会は、設立40周年を迎えます。友の会活動の更なる発展と活動の充実を目指さねばと心を新たにしたいところです。

続きまして、河合副会長、後藤企画運営委員長による映像で綴る「移情閣友の会35年の歩み」が放映され、各テーブルでは会食を楽しみながら、思ひ出話を語り合うなど談笑の花が咲いていました。閉会を前に、参加者一同で「小さな四季」、「ふるさと」を合唱しました。

今後とも様々な文化活動や同好会活動を通じて、国際交流や地域交流の場として、また、会員の親睦の場、および学びの場とすべく努力していきたいと思えます。

祝 新年快樂 万事如意

〈目 次〉

P 1……祝 移情閣友の会結成 35 周年
2020 年新春のご挨拶
P 2～3…友の会 35 周年記念祝賀会

P 4～5…活動報告
〈関帝廟・国際交流フェスタ〉
P 6～7…移情閣まつり

P 8～9…孫文 2019
P 10～11…交流ひろば
P 12……今後の予定